

2017.6～

京都教育大学 教育支援センターシンポジウム・ワークショップ

参加料無料・申し込み不要

“性と生”について学ぶ

「人権に基づく性教育」シリーズ

**テーマ：ひとは違っているもの ～“多様性”について知る～
文科省「性的マイノリティ通知」を授業にするために**

日 時：2017年 8月 5日(土) 14:00～16:30

場 所：京都教育大学 附属教育実践センター機構棟2F
未来教室対応・高度化授業研究室

内 容：

2015年4月、文部科学省は「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒にきめ細やかな対応等の実施について(教職員向け)」を出しました。これにより教職員研修を実施、理解が進むなかで個別に対応することが必要だという認識が学校にも広がりつつあると感じられます。

しかし、この通知にはセクシャルマイノリティ当事者が安心して学校生活を送るために不可欠な周囲の理解を進める全体指導への記述がなく、その実践が進んでいるとはいえません。実際に、宝塚大学日高教授の調査では授業で扱った教員は14%にとどまり、「先生がいじめ被害にあったとき役に立ってくれた」という答えはわずか19.9%でした。

そこで、セクシャルマイノリティ理解の基本となる“多様性”について学び、だれもが「これなら実践できる。やってみよう。」と思える中高生向けの性教育学習を模擬授業で実践します。

理 論：関口久志さん(京都教育大学教授)

模擬授業：大江亜紀子さん(京都性教協)

竹花 惇 さん(京都性教協)

問い合わせ：075-644-8326

主 催：京都教育大学 教育支援センター

協 力：京都“人間と性”教育研究協議会

